

## 市民団体・NPO等

ESDには様々な側面や分野があり、市民の参加なくしては広がりません。現在、岡山市域で岡山ESDプロジェクトに重点取組組織等として参加している団体は164。2005年当初の27団体から大きく増えています。市民一人ひとりがESDのよき実践者になることを目指します。

※団体数は2013年9月現在



### 就実・森の学校

岡山市中区今谷にある笠井山を中心に、生徒、学生たちが一般の方々と協力して「里山づくり」に励んでいます。荒れた竹林の整備や竹炭作り、また赤松の植林活動や椎茸の植菌体験などを通してESDについて学んでいます。毎年4月下旬には、山のよさを一般の方にも知っていただくため、竹林コンサートも開催しています。今後は、操山をフィールドとして活動されている方々と、より深く連携し「里山づくり」を進めていきたいと考えています。

### 高農環境を考える会(岡山県立高松農業高等学校)

岡山市環境保全課と地域の方と一緒にスイゲンゼニタナゴの生息地域である用水路の清掃を年2回実施しています。また、校内にあるビオトープではスイゲンゼニタナゴを保護・繁殖させる活動を日々行っており、ビオトープ内のスイゲンゼニタナゴの生息数の調査も隔年で実施しています。また、地域の河川である足守川の水質調査も年4回定期的に行っています。これらの活動を通し、生態系のつながりや身近な環境保全の大切さを考える良い機会となっています。



### ノートルダム清心学園清心中学校・清心女子高等学校

約25年間、岡山県内に生息するサンショウウオやイモリを中心に研究と保護活動に取り組んできました。文部科学省スーパーサイエンスハイスクールの指定を受け、「生命科学コース」を設定したのをきっかけに、現在は生命科学コースの生徒を中心にしたメンバーで活動しています。マレーシア・ボルネオ島、岡山県・蒜山、沖縄県・座間味島での自然観察、希少動植物の繁殖実験のためのビオトープ造成など、さらに活動の幅を広げています。持続可能な社会づくりに貢献できる女性の育成を目指しています。

### NPO法人岡山県国際団体協議会(COINN)

NPO法人岡山県国際団体協議会(COINN)は、国際協力活動等を行うNGO団体の岡山県内唯一の連合組織(80団体)です。世界の課題を海外のNGOと連携して取り組みその解決の為に協働することをミッションとしています。COINNは、1994年から構成団体の活動を含めこれまで毎年NGO関係者を海外から招聘しESD国際会議を行うと同時に、会員団体と協働して「地球市民フェスタinおかやま」等を2004年から実施し、市民・県民に各団体の活動を広報しています。



楽しみながら続けてきた10年間の活動は、気づけばESDという言葉がぴったりだということに気づきました。タブラササが考えるまちづくりとは、岡山をもっと魅力的な場所にするためのアイデアを枠にとらわれずに実現し、仲間を増やしていくこと。自分たちの住む街が好き、という人を増やしていくことが、持続可能な社会につながるのだと思います。



NPO法人タブラササ 理事長 河上直美さん

## NPO法人タブラササ

タブラササとは、ラテン語で「白い板」「白紙の状態」。持続可能なまちづくりにはエコの要素が欠かせないと考え、イベント、ものづくり、食など様々なものとエコをコラボさせ、オシャレで楽しいライフスタイルを提案し、生活における多方面への興味・関心の「きっかけ」をつくっている20~30才代のグループです。主な活動に、西川緑道公園でのキャンドルナイトやマーケットの開催、リユース食器等を活用しエコをスマートに実践する「エコスマ」、結婚式で使ったキャンドルをHAPPYに蘇らせるHAPPY SHARE CANDLE、白石島での島おこしのきっかけづくりなどがあります。



## NPO法人グリーンパートナーおかやま

平成9年から岡山を拠点に自然環境保全活動（不法投棄清掃、里山再生、瀬戸内海国立公園植樹等）、平成20年から海ごみ問題（海底ごみ、漂着漂流ごみなどの回収）体験学習と分別調査を通じた、地域連携による瀬戸内海の流域環境の保全・再生活動をしています。瀬戸内海は世界の宝石と唱えられていましたが、現状は「ごみ箱化」し、海底のごみを除去しなければ環境が破壊されていきます。「世界の宝石—瀬戸内海を磨く」を合い言葉に、流域全体で自然環境の保全に取り組み問題解決のために、山、川、海を守り、未来へと繋げ、瀬戸内海流域全域への実践活動を情報発信し共有しています。

## NPO法人ハートオブゴールド

カンボジアでスポーツを通じた開発や、自立支援（日本語教育、里親制度による養護施設運営）活動を行っています。また、国内の学校においては貧困・環境・食糧・人権・平和などについて途上国の現状を伝え、子どもたちが実践できる支援活動に協力しています。この活動を通して、日本の青少年たちが自分自身の生活を見直し、持続可能な社会について考え、問題の解決に積極的に取り組む体験を支援しています。



## 活動を支えるサポーター

ESDの活動を推進する上でサポーターとなる団体や人の存在は欠かせません。研究組織やNPO、教育関係者などが地域の課題解決やESDカリキュラムづくりなどを多方面からサポートします。



### 岡山大学

岡山大学は、2007年にユネスコから「岡山大学ユネスコチェア：持続可能な開発のための研究と教育」の認可を受け、高等教育機関としての立場から、地域のESD活動に対する専門的助言や環境分野での国際連携に力を入れています。また、岡山大学は、高等教育機関のESDネットワークであるHESDフォーラム、ProSPER.Net、ASPUnivNetに創設時から参加し、岡山大学ユネスコチェア、教育学研究科、環境生命科学研究科等の学内組織が連携して、大学教育へのESDの導入や、学校教育・社会教育におけるESD活動の支援を行っています。大学院教育学研究科にはESD協働推進室を設置しています。

### 公益財団法人岡山県環境保全事業団

環境学習センター「アスエコ」は公益財団法人岡山県環境保全事業団が運営している環境学習施設です。

「知ってもらう」「行動に移してもらう」「仲間を増やしてもらう」を基本コンセプトに、講師の派遣やイベントの実施などを通して、環境を楽しく学んでもらい、行動に移すきっかけづくりとなることを目指しています。

所在地：岡山市北区下石井2丁目2-10

開館時間：午前10時～午後6時

(午後1時～2時はお昼休み)

休館日：日曜日、祝祭日、年末年始



### 岡山理科大学環境教育地域支援研究会

岡山理科大学環境教育地域支援研究会では、旭川上流域の源流域から下流域にある干潟までの様々な地域と協力関係を構築し、水質・地質およびそこに生息する生物を研究するとともに、得られた成果を地域のシンポジウム等で発表し共有しています。

また、旭川流域で開催される水辺・干潟教室にも学生を積極的にサポーター役として派遣し、協力しています。さらには、河川や干潟を活用した野外実習を安全に楽しく行うためのコンテンツの開発も行っています。



ESDがねらいとしている持続可能な社会の実現のためには、ひとりひとりの取組が重要です。様々なサポーターの協力を得ることで、それぞれの取組を深めることや、つなげることができ、地域が一体となった大きな活動となっていきます。

岡山大学大学院教育学研究科ESD協働推進室  
川田 力先生



# これまでのあゆみを振り返り、2014、そして未来へ向けて

## ESDに関する世界、日本、岡山のあゆみ(2002年以降の主なもの)

| 年    | 世界  | 日本  | 岡山  |
|------|---|---|---|
| 2002 | <ul style="list-style-type: none"> <li>日本政府がNGOからの提言を踏まえて「ESDの10年」を提案</li> <li>第57回国連総会「ESDの10年」採択</li> </ul> |   | <ul style="list-style-type: none"> <li>岡山市がヨハネスブルグサミットのサイドイベントで環境パートナーシップ事業について発表</li> </ul>                                    |
| 2003 |   | <ul style="list-style-type: none"> <li>NPO法人持続可能な開発のための教育の10年推進会議 (ESD-J) 発足</li> </ul>                           |   |
| 2004 |   | <ul style="list-style-type: none"> <li>第1回「ESDの10年」関係省庁連絡会議開催</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>「第10回おかやま国際貢献NGOサミット」出席者と岡山市長の懇談の席上で、国連大学からRCEへの連帯協力の要請を受ける</li> </ul>                   |
| 2005 | <ul style="list-style-type: none"> <li>「持続可能な開発のための教育の10年」開始</li> <li>ユネスコ「UNDESD」国際実施計画策定</li> </ul>         | <ul style="list-style-type: none"> <li>UNDESD関係省庁連絡会議を内閣が設置</li> <li>日本で最初のRCEが認定される</li> </ul>                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>4月、岡山ESD推進協議会発足</li> <li>6月、岡山地域が世界の6地域とともにRCEとして認定される</li> </ul>                        |
| 2006 | <ul style="list-style-type: none"> <li>第1回RCE国際会議開催 (横浜) (以降毎年開催)</li> </ul>                                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>「国連持続可能な開発のための教育の10年」実施計画策定</li> <li>教育基本法公布・施行</li> </ul>                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>第1回岡山ESDネットワーク交流会開催</li> <li>RCE統営 (トンヨン) ESD視察団来岡</li> </ul>                            |
| 2007 | <ul style="list-style-type: none"> <li>第4回環境教育国際会議 (インド・アーメダバード)</li> </ul>                                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>ESD推進議員連盟発足</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>4月、岡山大学がユネスコから「岡山大学ユネスコチェア：持続可能な開発のための研究と教育」の認可を受ける。</li> <li>第1回国内RCE実務担当者会議</li> </ul> |
| 2008 |   | <ul style="list-style-type: none"> <li>ESD円卓会議開催</li> <li>学習指導要領改訂 (小・中)</li> <li>教育振興基本計画策定</li> </ul>           |   |
| 2009 | <ul style="list-style-type: none"> <li>「ESDの10年」の中間年、ESD世界会合開催 (ドイツ・ボン)</li> </ul>                            | <ul style="list-style-type: none"> <li>「ESDの10年・世界の祭典」の呼びかけ、「ESDの10年・地球市民会議2009」事業化ワークショップ始まる (以降毎年開催)</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>韓国トンヨン市からのESD視察団来岡</li> </ul>  |
| 2010 |   | <ul style="list-style-type: none"> <li>「ESDの10年・世界の祭典」事業化ワークショップ</li> </ul>                                       |   |
| 2011 |   | <ul style="list-style-type: none"> <li>東日本大震災 (3.11) と原発事故発生</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>岡山ESDのキャッチフレーズ募集および決定</li> </ul>   |
| 2012 | <ul style="list-style-type: none"> <li>国連持続可能な開発会議 (リオ+20) 開催 (ブラジル・リオデジャネイロ)</li> </ul>                      |   | <ul style="list-style-type: none"> <li>岡山市役所内にESD最終年会合準備室を設置</li> </ul>   |
| 2013 |   |   | <ul style="list-style-type: none"> <li>岡山市役所内にESD世界会議推進局を設置</li> </ul>  |
| 2014 | ESDに関するユネスコ世界会議開催   |   |   |

## 未来へ — 新岡山ESDプロジェクト基本構想 —

### 岡山のESD活動を支えてくださっている方々から

岡山市では、公民館が拠点となり、行政、学校、NGO、NPOなどの多様な主体が連携した先進的なESDが展開されています。2014年の世界会議では、岡山市の取組を世界に発信するとともに、ESDの更なる発展に向けたビジョンが提案されることを期待しています。



岡山大学理事・副学長  
阿部宏史先生

ESDの10年開始前夜、2004年秋、国連大学が提唱するESDの地域拠点 (RCE) に関するステークホルダー会合が岡山市役所で開催され、初めて岡山を訪れました。それから早9年、HESDフォーラム2009や公民館サミットなど、様々な機会に何度も訪れた岡場で、来年のステークホルダー会議開催に向けてESDがますます盛り上がっていることを心から嬉しく思います。



ユネスコ教育局ESD課  
プログラム・スペシャリスト  
望月要子さん



岡山KEEP運営委員  
井上紘貴さん

私は2005年より岡山市京山地区におけるESD活動に参加してきました。京山は私の大事な原点であり、多くの出会いがあり、学びを得ることができました。これらを糧に、希望をもてる社会をつくるべく、これからもESDという「種」をまき続けていきます。

KEEP：京山地区ESD推進協議会



足守水辺教室



建部自然エネルギー散策

